西地区まちづくり広報誌

西地区 愉快だ 宇都宮 UTSUNOMIYA

ひまわり

第43号
発行　令和７年７月20日
西地区まちづくり
推進委員会
西地域コミュニティセンター内
TEL 028－635－7141

ほうぷけん　子ども食堂



2024年７月から西地域コミュニティセンターをお借りして、毎月第２金曜の午後６～８時にこども食堂「ほうぷけん」を開催しています。

きっかけは同年１月から半年間、子どもの貧困に関する下野新聞の長期連載「希望って何ですか」を担当したことです。取材では、苦境の中で我慢と諦めを重ね意欲が湧かない子どもたちや、伴走する支援者に出会いました。そんな姿を目の当たりにしてただ記事にするだけでなく、自分たちで支援を実践してみようと思うようになりました。その具現化として子ども食堂の運営を始めました。

現在は西地域の社会福祉協議会様や民生委員児童委員協議会様と共催で、地域の皆さまからいただいた野菜などを使った手作りのご飯を振る舞っています。西小の児童を中心に40人ほどが訪れており、にぎやかなひとときを過ごしています。

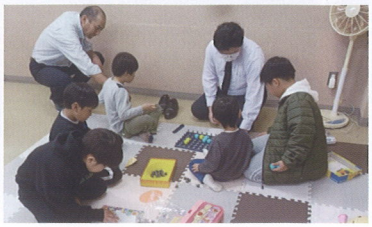
地域コミュニティの希薄化が叫ばれる中、ほうぷけんは微力ながら「親子が地域とつながるきっかけの場」になりつつあると思います。いつか子どもたちが困難を抱えた時に、地域の人が手を差し伸べられるように―。そのためにも、ほうぷけんが「つながり続ける場」としてあり続けることが大事だと考えています。引き続き地域の皆さまのご理解ご協力賜れましたら幸いです。

下野新聞社 報道部 県政担当 大貫茉伊子記者寄稿









西地区社会福祉協議会より

西地区社協、西地区民児協が、ほうぷけん子供食堂の共催を始め10月で１年になります。毎回30名程の児童が、楽しそうに食事をしたり、学年を超えてゲームをしたり折り紙をしています。

保護者の交流の場にもなっています。高齢者の方も是非来てください。食材やゲームなどのご提供お待ちしています。

ご連絡は西コミセン迄お願いします。

令和６年度西小学校の桜を見る会



３月29日㈯に西地域コミュニティセンターにおいて、毎年恒例の「西小学校の桜を見る会」が開催されました。

今年の桜を見る会では、西地区ひまわり太鼓の演奏と、西地区スポーツ協会のご協力の下、スポーツ吹き矢体験会を行いました。



また、今回は西地区にお住いのリース作家で、フラワーアーティストとしても活躍されていらっしゃる齋藤香子氏をお迎えして、ドライフラワーを使ったボトルフラワー作りのワークショップを開催いたしました。

当日は雨模様のあいにくのお天気でしたが、たくさんの皆様にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。

第22回西地区大運動会

令和７年５月24日㈯

心配された天気も回復し穏やかな日差しの中、第22回西地区大運動会が西小学校と地域の合同で開催されました。

西小学校の児童たちは、各学年ごとの種目やダンスに、日頃の練習の成果を思う存分発揮してくれました。また地域の方々は普段の運動不足をものともせず、素晴らしいパフォーマンスを魅せてくれました。

運動会実施にあたり、ご参加くださった地域の皆様、企画・準備段階から当日の運営までご協力いただいた学校やPTAの皆様、そしてボランティアとして参加いただいた一条中学校の皆様に御礼申し上げます。

来年も今年以上に素晴らしい運動会を実施したいと思います。ありがとうございました。















令和７年度西地区まちづくり推進委員会事業計画

〔地域づくり活動〕

月　　日	事　業　内　容	開　催　場　所
令和７年５月17日(土)	総会（４団体合同総会）	西地域コミュニティセンター
令和７年７月	情報誌【ひまわり43号】発行	全世帯配布
令和７年８月23日(土)	みんなで宮の盆踊り	西地域コミュニティセンター
令和７年８月	西地区若者Ｕターンゲート事業	西地域コミュニティセンター
令和７年10月	バス研修【地域のまちなみを楽しもう】	詳細未定
令和７年10月（全４回）	歴史講座（柏村祐司先生）	西地域コミュニティセンター
令和７年12月６日(土)	西地区歳末チャリティー餅つき大会【第22回】	西小学校　校庭 西地域コミュニティセンター
令和８年１月	西地域コミュニティセンター避難訓練	西地域コミュニティセンター
令和８年２月	楽しくクッキング（西小児童対象） アサヒクッキングスクール校長　吉野ひろみ先生	西地域コミュニティセンター
令和８年２月～３月	西和太鼓教室（３回）	西地域コミュニティセンター
令和８年３月１日(日)	情報誌【ひまわり44号】発行	全世帯配布
令和８年３月28日(土)	第12回　西小学校の桜を見る会	西小学校体育館前

連合自治会長が変わりました

この度、西地区連合自治会長に就任しました松が峰自治会長の松岡です。本来は西地区まちづくり推進委員会長として微力ながら西地区のまちづくりに努力しております。

今回、諸般の事情により、この大役を引き受けることとなりました。西地区は高齢化が著しいところです。さらに会長が高齢者では地区の発展は望めません。どうかこれからは若い人がまちづくりに自治会の活動にと協力していただけることを願っています。若い力こそが街の発展の礎です。とはいえ、与えられた任務につきましては鋭意頑張ってまいりますのでよろしくお願いいたします。



西地区まちづくり推進委員会のホームページについて

地域への情報発信力強化のため、宇都宮市のデジタル活用支援事業補助金を申請中です。

結果については、判明し次第皆様にお知らせする予定です。

令和７年度歴史講座　全４回

共通テーマ　**西地域付近のおもなできごと**

第１回　10月４日　13:30～15:00
「本多正純の町割り、その1奥州街道の付替えと町人町の発展」

第２回　10月11日　13:30～15:00
「本多正純の町割り、その2武家屋敷の設置」

第３回　10月18日　13:30～15:00
「戊辰戦争による街並みの焼失と新しい町の形成」

第４回　10月25日　13:30～15:00
「三島通庸の県庁移転に伴う宇都宮市街地の変容」

特別講座　８月７日(木)　13:30～15:00

演　題「戦後80年を迎えて　戦争を二度と起こさないためにも」

今から80年前、宇都宮はもとより日本各地で空襲に見舞われ、悲惨な目にあいました。これもひとえに日本が戦争を起こしてしまったからです。戦後80年の節目に当たり、日本はなぜ戦争を起こしてしまったのか改めて問うものです。

シリーズ　わたしたちのまち、再発見!!（第９回）

城 下 町 の 変 遷

栃木県立博物館名誉学芸員・とちぎ未来大使　柏村　祐司 氏

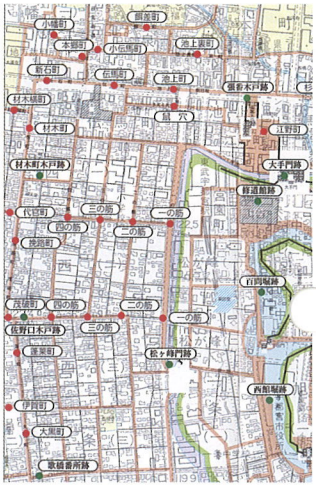
宇都宮が城下町として発展するきっかけは、平安時代の中頃に藤原宗円が今の城址公園の所に城を築いたのが始まりとされる。その後、江戸時代元和５年（1519）宇都宮城の城主となった本多正純が、宇都宮の町割りを行い、現在の宇都宮市街地の基本となる城下町の姿が出来上がった。この町割りにより城西側の台地に奥州街道（日光街道）が設けられ、街道沿いには町民の居住地域が、町民の居住地域の西側と東側には武家屋敷が開かれたのである。また、日光街道と奥州街道との追分付近には、問屋場が設けられ、荷物を運ぶ人馬（伝馬・てんま）が備えられた。伝馬町という町名は、伝馬が備えられていたことに由来する。この他に問屋場付近には、大名等の宿泊施設の本陣をはじめ庶民の宿泊施設の旅籠屋が軒を並べ、宇都宮城下で最も賑やかな場所となった。

ところで江戸時代の西地域は、大まかに言えば街道筋に町人町が、町人町を挟んで東西両側に武家屋敷が作られた。東側の武家屋敷は城の外堀西に位置し、城の近くから南北通りを順に一の筋、二の筋、三の筋、四の筋と呼ばれた。今の一条町、二条町、三条町、四条町である。一方、西側には、代官屋敷や街道口の防備に当たる徒歩組（かちぐみ）の小旗組の屋敷が作られた。大寛町や小幡町の町名はこのことに由来する。

本多正純による町割りによって出来た宇都宮の城下町の姿は、戊辰戦争と太平洋戦争の2度の戦災により市街地の大半が焼失し大きく変わった。その上、戦後の大通りの拡張や市街地の整備により、戦災を免れた数少ない伝統的な家屋や近代的な建築物が取り壊された。宇都宮市民憲章に「古い歴史に支えられた」とあるが、目に見える歴史的な建物等が少ないのはさびしい。歴史と未来とが織りなす文化都市の創造を目指す、新しい市民意識の芽生えは、今に生きる我々に託されていることを忘れてはならない。



昭和51年第１回ふるさとみやまつりの様子



江戸時代の宇都宮城下復元図

Voice　老害の果てに

今から約2000年前の中国の書物「菅子」に１年の計は穀を、10年の計は木を、そして100年の計は人を樹うるが如くとあります。

１年の計である穀物は今、どうなっているのでしょう。政府は長らく減反政策を行い米の需給と米価の安定を模索しました。しかし昨年、国内の米不足が露呈し、米価は２倍となり令和の米騒動が起こりました。政府は慌てて備蓄米を放出し、更に不足は輸入で補おうとしています。自給率100％と言われたお米、食糧安全保障は根幹から崩れようとしています。

次の治山はどうでしょう。山肌は大きく削られ植林されていない山、あるいは手入れが行き届かない山、これでは水源涵養林としての働きはありません。近年の異常気象に備える意味でも治山治水をしっかりと考えたいものです。

そして最後の国家100年の大計、教育はどうでしょうか。ここ30年、日本の経済は停滞したままです。しかし、各国は教育にお金をかけてきました。現在、世界の工場となりＡＩでもアメリカを凌駕する中国は30倍、韓国は５倍、アメリカでさえ３倍と言われています。しかし、日本は0.9倍です。教育予算の割合はOECD37か国中36位です。いつの間にか先進国から転げ落ちても気づかない日本。何か処方箋はないのでしょうか。

文責　ー 松岡 明直ー

熱中症避難所開設について

西地域コミュニティセンターでは、前年に続き、「熱中症避難所」を開設しています。

暑いと感じたら、エアコンの効いた西コミセンにいらっしゃいませんか？冷たい麦茶を用意して皆様のお出でをお待ちしています。

地域のお困りごと



西地区支え合い活動は、多世代で交流しながら暮らしのお困りごとのお手伝いをしています。2022年からはじめ、これまで18件、延べ101名(うち小学生～大学生66名)に参加いただき、現在４年目の活動をしています。先日もお庭の草むしりなどをしきました。利用については、西地区コミュニティセンターにご連絡を頂き、その後担当者から日程調整を行い、実施となります(１回2,000円を頂いております)。



暮らしの不安を解消し、多世代が関わりながら温かい地域づくりに貢献できましたら嬉しいです。（西地区支え合い活動事務局：岩井俊宗）

編 集 後 記

勤務先の勧めもあり、今年も人間ドックを受診しました。自分の健康状態を詳しく知るうえで非常に有意義だと思います。

しかし運動不足や高カロリーな食事等を毎回指摘されており、今年こそは生活習慣を改善しよう、と毎年思っています。

編集委員一同

描画材料
ガクブチ
掛　軸
絵　画
白木屋
宇都宮市伝馬町1-4（大通り）
宇都宮（028）633－3258代

UTSUNOMIYA
ホテル丸治